

村づくり協力委員会が活動しています

村には「昭和村村づくり協力委員会(以下、村づくり協力委員会)」があり、住みよい村づくりのための建設的な意見を村政に届け活動をしています。ここでは委員会の活動をご紹介します。

村づくり協力委員会(吉沢強会長)は、村内各地域に住む17人の委員からなっており、村長から委嘱され活動しています。

委員会は、村内のイベントに参加しているほか、先進地視察や研修、村議会議員との意見交換などを行って頂いています。こうした活動を通じて得られた意見をまとめ、村長に提言として提出しています。

委員会は、村民の行政への参画を代表する役割も果たしており、活躍がますます期待されています。

村づくり協力委員会

吉沢強会長(中野)



私たち委員は協力して活動しています。村の美しさを保ち、村の魅力を村外にもPRしていきたいですね。

「ウィンターフェスティバルin昭和村」に参加。子どもたちが参加して楽しめるようなアトラクションなどを行っています。

活動を通じて気づいたことや意見を2年に1度「提言書」としてまとめ、堤村長に手渡します。住みよい村づくりのための大切な一歩となります。

委員の任期は4年で、半数が2年に1度改選されます。就任の際、委員の皆さんには堤村長から委嘱状が手渡されます。委員としての活動スタートです。



村長に提言書を提出



委嘱状の交付



ウィンターフェスティバルに参加



昭和の秋まつりに参加

委員さんの活動



清掃活動を実施

村の一大イベント「昭和の秋まつり」に参加。会場の設営から運営までを支えています。

令和2年には、村が加盟している「日本で最も美しい村」連合の設立日で記念日となっている10月4日にちなみ、昭和インター線の清掃活動を行いました。

※参加や実施する行事は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止になったもの、新たに企画されたものなどがあり、社会情勢により変更となる場合があります。

7月8日 花いっぱい運動を実施 利根沼田望郷ライン沿いで花植え



村づくり協力委員会が村議会と合同で「花いっぱい運動」を実施しました。この運動は、村の景観や環境の美化を目指す活動の一環で、両団体が毎年行っているもの。

この日は、利根沼田望郷ライン沿いにサルビアとマリーゴールドの苗、およそ4千本を植えるもので、当日は雨が心配される中での作業となりました。

参加した村づくり協力委員と村議会議員の皆さんはおよそ1時間にわたって苗の植付けに汗を流し、美しい花壇を整備しました。